

人権学習展開例〔第3学年〕

1 主 題 一人一人のちがいや共通する願いに気づく。

2 教材名

22 7つのひみつ



3 主題・教材について

自分のことは、知っているようで知らなかったり、気づいていなかったりすることもある。そこで、この教材では、まず、自分自身に関するいろいろなことをふり返ることから、自分にはいろいろな要素があることに気づかせ、豊かになった気持ちを味わわせたい。次に、「友だち発見クイズ」を通して、友だちに関するいろいろなことを知り、自分との共通点や相違点に気づき、それらを当たり前のこととして認め合えるようにさせたい。

（関連領域：特別活動）

4 ねらい ・自分自身のありのままの姿を見つめ、自分に自信をもつ。
・お互いのよさや個性の違いを認め合う。

5 指導計画 第1次 自分自身を見つめ、「7つのひみつ」を書く。
第2次 「友だち発見クイズ」をする。

6 展開例

第1次

○ねらい 自分自身を見つめ、「7つのひみつ」を書く。

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	・教材「7つのひみつ」の絵を見て、学習内容を理解する。	・学習の進め方の見通しをもたせる。 ①自分に関する「7つのひみつ」を書く。 ②教師が、だれかの「7つのひみつ」を読み上げ、子どもたちは、それがだれの「ひみつ」なのかを想像して当てる。	
展開	「7つのひみつ」を書こう。 ・「7つのひみつ」をワークシート1に記入する。	・確実に「7つのひみつ」を記入させるため、教師が一問一答式で項目を読み上げて、「ひみつ」を考えさせる。 ・自分自身を見つめ直すために、静かな雰囲気をつくる。 ・人に知られてもよい「ひみつ」を記入させ、知られたくない「ひみつ」は、無理に書かなくてよいことを伝える。 ・人それぞれに違いがあることが楽しいことであると伝える。 ・「7つのひみつ」がクイズになることから、黙って記入させる。 ・7つめの「ひみつ」である「わたしのとくちょう」には、だれであるかが特定できる内容を記入させる。	ワークシート1
まとめ	・次時の予告を聞く。	・次時に、みんなの「7つのひみつ」を使って、「友だち発見クイズ」をすることを予告し、興味・関心を高めておく。	

第2次

○ねらい 「友だち発見クイズ」をする。

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	・「友だち発見クイズ」のやり方を理解する。	・前時での活動をふり返り、ゲームの進め方や注意事項を説明する。	
展開	「友だち発見クイズ」をしよう。 ・「友だち発見クイズ」をする。 ① 教師が読み上げるだれかの「ひみつ」を一つずつ聞き、だれの「ひみつ」であるのかを推測する。 ②だれの「ひみつ」かわかったら、手を挙げて発表する。 ③・正解であった場合、 当てられた子どもは、その場に立ち、残りの「ひみつ」を発表する。 ・不正解であった場合、 続いて教師が読み上げる「ひみつ」を聞く。 ④ ①～③をくり返す。	・ある子どもの「7つのひみつ」(ワークシート1)を一つずつ読み上げ、それがだれの「ひみつ」であるのかを、じっくり推測させる。 ・正解であった場合、全員で拍手をさせたい。また、当てられた子どもが残りの「ひみつ」を発表し終えたときにも、全員で拍手をさせたい。 ・次の子どもの「7つのひみつ」についても、同様のことをくり返し、クイズを続ける。 ・「友だち発見クイズ」を行うことで、友だちのことをよく知ろうとする態度を育みたい。また、友だちに発見してもらえることにより自尊感情を高めたい。	ワークシート1
まとめ	学習をふり返ろう。 ・「友だち発見クイズ」をした感想をワークシート2に記入する。	・感想には、友だちのことで初めて知ったことや心に残ったことも書くように指示する。	ワークシート2

【参考資料】大阪府人権教育研究協議会『わたし 出会い 発見』

7つのひみつ

名前（ ）

自分のことをみんなに当ててもらおう7つのひみつを書きましょう。

◎わたしが一番じまんでできることは



です。

◎わたしがにがてなことは



です。

◎わたしが大切にしているものは



です。

◎わたしが行ってみたいところは



です。

◎わたしが一番ほしいものは



です。

◎わたしが大きくなったら



です。

◎わたしのとくちょうは



です。

（これを知ると、「〇〇さんだ！」とわかることを書こう。）

【ワークシート2】

「友だち^{はっ}発見クイズ」をして



名前 ()

自分のひみつをみんなにしょうかいされているときは、どんな気持ちでしたか。

--

自分のことをだれかに発見してもらったときは、どんな気持ちでしたか。

--

友だちのひみつを聞いて、はじめて知ったことは何ですか。

[illegible]